



福祉型障害児入所施設 つよし学園児童部

福祉型障害児入所施設※施設入所支援※生活介護、短期入所、日中一時支援 ※施設入所支援・生活介護

目的

30年度4月より10名定員に定員変更いたしました。昨年度は、6名の利用がありました。今春からは、4名の利用者が在籍しております。高校3年生2名、高校1年生1名、中学1年生1名です。高校を卒業する2名の方については、卒業後の進路決定と言う大切な一年間となります。本人の意思を尊重し、保護者・支援学校などの関係機関と連携・協力をはかっていきたいと思ひます。学園での生活においては『生きるための力を育む』ことを基本とし、『人に頼りにされる』『人の役に立てる』ために、基本的な生活習慣を見つめなおし、色々な経験を積んでいきたいと思ひます。

ハンバーグ作り

皆で協力してハンバーグを作りました。
自分たちで作った料理の味は格別でした。



綺麗にできました
盛り付けも



真剣に皮をむいています



上手に焼けました

児童施設球技大会

あかつき学園との合同チームで試合に臨みました。
他施設との交流も出来て楽しい1日となりました。



作戦会議中!?





障害者支援施設 つよし学園成人部

障害者支援施設、施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援

目的

現在31名の方が入所生活されています。日中活動の生活介護サービス定員については、今年度より50名から30名に減員いたしました。

18歳～77歳の幅広い年齢層の方が生活されています。また、障害も多様化しており、職員育成が急務と感じております。『倫理綱領』『支援者の行動規範』を基本に掲げ、支援力向上に向けた研修会の開催や職員面談を密に行い、職員育成を行っていきます。

また、年々重度・高齢化は進む中、職員の人手不足は解消されず、支援力の低下や日中活動の縮小、今年度で54年を迎える当学園の建物改修という大きな課題も抱えております。利用者は勿論のことですが、職員同士も『尊い存在』として捉え、何事にも全員で『合意形成』することにより、それぞれの存在や責任も明確になると考えています。

『個別支援計画書』を支援の核と再認識し、利用者一人ひとりの生活が豊かになるように、PDCAサイクルを有効的に機能させて、利用者とともに成長していきたいと思えます。

空き缶拾い

つよし学園の周りの道路の空き缶拾いを定期的に行っています。
綺麗になると気持ちいいですね♪
空き缶拾いのことならお任せあれ!!(^_^)/

拾ったぞー!



門松作り

今年は日南郵便局と風田簡易郵便局の門松を作りました。
地域の方々に「頑張ってるね。」や「ありがとう。」
など声を掛けられると、やる気が出てきます。

大きいー



フォトジェニック?



立派な門松が出来ました